



3.23 ゼレンスキー大統領国会演説

ロシアのウクライナ侵攻 2022

国際資料研究所 小川 千代子

2022年3月、ロシアがウクライナを侵



攻し始めた。これまでは、映画とかドキュメン

タリー番組などで、多分「作った」戦闘シーンを見ることは少なくなかった。だが、今回はテレビニュースの画面に本物の戦火がナマで映し出されている。5月17日現在もなお、インターネットニュースのトップはウクライナ情勢であり、「ロシア軍、マリウポリ制圧か」の見出しが躍る。なんということだろう。

2022年3月23日、ウクライナのゼレンスキー大統領はオンラインで日本の国会議員に向けた演説を行った。この時代、珍しいことでもないはずなのだが、なんと日本の国会議事堂の議場にはモニターなどの画面の準備がなかった。それで、3月22日18時から10分程度、衆議院第1議員会館1階の国際会議室と多目的ホールの2会場に議員諸氏が集まり、ここでゼレンスキー大統領の演説を聞いた。

<https://www.epochtimes.jp/2022/03/89169.html>

我々国民はテレビやネットでこの演説に触れたのだが、国会のデジタル設備が実はひどくお粗末だということを知った。デジタル庁が創設され、マイナンバーカードの普及が急がれる日本だが、なん

と国会議場にモニターの設備がないという。思い返せばコロナ対策では使えないアプリだの、役に立たないア●のマスクなのに巨額の税金をつぎ込んできた日本政府が、外国の大統領がオンラインで演説を行うというのに、そのためのモニターさえも間に合わないというのも、滑稽な話だ。国会議員はみな、国会議事堂を出て、通りの向こう側の議員会館の、国際会議室及び多目的ホールに移動し、ゼレンスキー大統領の演説に接した。その時の様子はTVニュースでも取り上げられた。

第2次世界大戦後の焼け跡で育ったベビーブーマーの筆者は小学生時代、日本国憲法9条戦争放棄の重要性をしっかりと教え込まれた。毎日が平和で、安心して暮らせた1950年代、当時教壇に立たれた先生方にとっては眩しく大切なものであったに違いない。今思う。あの頃の眩しさは忘れてはならない。ウクライナに栄光あれ。(ち)



ウクライナのゼレンスキー大統領（画面右）のオンライン国会演説を前に、あいさつする細田博之衆院議長（向左）=3月23日、東京・永田町の衆院議員会館 時事通信社

【ノカット/同時通訳】ウクライナ・ゼレンスキー大統領 日本の国会演説で何を語る？ | TBS NEWS - YouTube

おもな内容

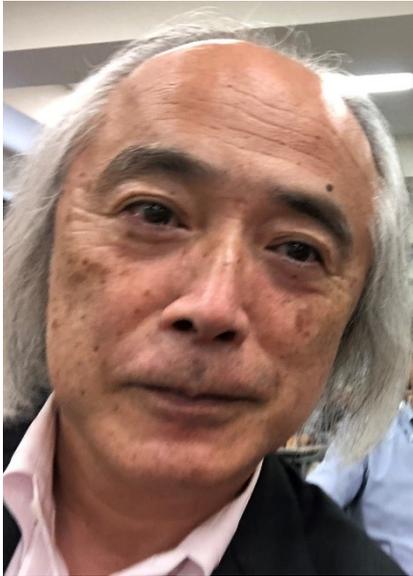
DJIレポート No.128 20220531

ロシアのウクライナ侵攻 2022.....1
追悼小松芳郎氏.....2

消息/文献紹介/あしあと/活動.....3
巻末随想 八大龍王様の花瓶 他.....4

追悼 小松 芳郎 氏

私は、私は松本という町がとても好きだ。その松本に2000年秋、文書館が設立された。その頃から初代松本市文書館長である小松芳郎さんの知己を得た。そして、松本は私のふるさととなった。公私にわたりふるさと松本と小松さんにはお世話になりっぱなしであった。



小松芳郎さんとの知己を得て間もないころ、松本市文書館開館以前のことである。ご自宅にはワラで作った縄文時代の住居を復元したものがあるから、見に来るように、と誘ってくださった。それで、私は小松さんのご自宅にお邪魔して、縄文時代の復元住居を見せていただいた。私は、実をいうとそこで寝泊まりもできると思い込んでいたのだが、それはさすがにムリで、「喜源治」と呼ばれる囲炉裏がある小松家古民家に泊めていただいた。

小松さんがその設立に奔走した松本市文書館は2000年に開館した。その開館式の数日前、小松さんから私の事務所に電話があった。国際資料研究所の名前で開館式に花を出してほしい、

という依頼であった。世事に疎い私は、それまでは開館式に飾られる花は、誰かが勝手に送り付けてくるものと思い込んでいた。儀式は演出するものであり、主催者は花を出してほしい機関や団体を選んでよいのだと、この時、小松さんに教えられた。

その小松芳郎さんが2022年2月21日に亡くなった。昨年春にお目にかかった時、「暮に大きな手術をしたんだ」とおっしゃっていた。その後11月に文書館を見学させていただいた時は、書庫で大きな文書箱を抱えて出して見せてくださるなど、いつものご様子だったので、なんとなく安心していた。だが2022年1月になって、奥様からの電話で小松芳郎さんは最近入院して、再度手術を受けたことを知った。2月初めに思いついて菜の花の写真と共にLINEでご機嫌伺いメッセージを送った。これに対して割とすぐにお久しぶりです。体調崩して緊急入院、今日で三週間です。しばらく治療に専念します。」と返事があり、私はほっとした。次に2022.02.12朝08:30、「おはようございます。昨日、退院しました。在宅看護、治療に専念します。」とのメッセージが着信した。その10日後、小松さんは逝ってしまった。不意打ちだった。私より若いのに…。

2月27日、家族葬で葬儀が営まれた。その日は、その前数日に比べいくらか寒さが和らいでいたのだらう。小松芳郎さんの優しさがなせるわざだったのだろうか。

ご冥福をお祈り申し上げます。合掌



2022年3月15日記

小川 千代子

◆◆◆アーキビストの消息(順不同)◆◆◆【凡例:●個人■機関】

■レファレンスクラブの終了(日外アソシエーツ)

2022年3月31日(木)をもって終了いたします。

<https://www.reference-net.jp/>

2004年のスタート以来、18年近くに渡り、図書館員を始めとする調べ物をする方々の支援コミュニティサイトとして愛されてきたが、昨今ではFaceBook やツイッターなどのソーシャルメディアの充実でその役目を終えることとなった。なお、右記のコンテンツのみ、日外アソシエーツのホームページ内に移設して継続予定。新 URL にブックマークを更新されたい。

有木太一編「最近の書誌図書関係文献」

https://www.nichigai.co.jp/biblio_list/index.html

https://www.nichigai.co.jp/biblio_list/index2.html

日外アソシエーツ株式会社

レファレンスクラブ事務局 竹村雅彦

■早稲田大学歴史館(東伏見アーカイブズ)

4月1日付名称変更 学内組織再編による。旧名称は早稲田大学大学史資料センター

●大平裕己氏 4月1日付異動総務局人事部担当課長(一財)東京都人材支援事業団派遣(東京都公文書館長)

●窪田雅之氏 4月1日付 松本市文書館特別専門員

●工藤航平氏 3月末日付 東京都公文書館退職。4月1日より人間文化研究機構国立歴史民俗博

物館准教授着任、日本近世史を担当。「館蔵資料の管理やメタ資料額研究センター」のプロジェクトにも関わっていきますので、引き続きアーカイブズ学についても学んでまいります」

●高木秀彰氏 3月31日付寒川町役場定年退職、4月からは引続き再任用職員として寒川文書館勤務。

●細井守氏 3月31日付藤沢市(藤澤浮世絵館)退任、4月からは明治学院歴史資料館勤務。館(藤沢市浮世絵館)

●定兼学氏 3月31日付岡山県立記録資料館勤務終了。本誌やぶにらみ文献紹介「岡山のアーカイブズ」参照

●デブラ・スティデル・ウォール氏 Debra Steidel Wall



5月2日付 米国国立公文書館長代理就任。第10代館長D.フェリーロ氏退任による。2011年以來の副館長、NARA 奉職は1991年。

[Acting Archivist of the United States | National Archives](#)

訃報●Michel Duchein (ミシェル・デュシヤン)氏

2021年8月5日逝去。フランス文書管理庁名誉総裁。1970年代後半から文書館建物の解説書を度々著し、1980年代の日本でも知られた存在。1926年生、享年95。ご冥福をお祈り致します。合掌。

☆本コーナーへの皆様のご協力からお礼申し上げます。(ち)

●やぶにらみ文献紹介●◆▼●◆ ●図書◆論文▼逐次刊行物■その他●◆▼●◆

●要ちゃんの覚え書 新谷恭明著、A5判 88頁、2022年3月、2500円+税。

●中学生の喫煙 新谷恭明著、A5判縦 88頁、2022年3月、1000円+税。

●アーキビストとしてはたらく 記録が人と社会をつなぐ 下重直樹・湯上良編 A5判 243頁、山川出版社、2022年3月、2300円+税

■定兼学「岡山のアーカイブズ11 特集/新時代に向けて、記録資料館活動成果資料集」A4判縦組 284頁、岡山県立記録資料館、2022.3、退職記念寄稿

■小松芳郎「歴史の窓」『松本市史研究-松本市文書館紀要一第32号』所収 B5縦組 2022.3 p.45-107,

■九州大学大学史料叢書第28輯「臨床と研究」総目次集成三 A4横組 547p 2022.3 九州大学大学文書館

■公文書で見る明治時代のみやぎ 吉野作造記念館 2021年度後期企画展 展示目録 A4横組 16頁 2022.3

■女性が変わった災害復興 男女共同参画と災害・復興ネットワークの10年 A4横組 134頁 2022.3 男女共同参画と災害・復興ネットワーク発行 (ち)

●千代子のあしあと●◆▼●◆ ●図書◆論文▼逐次刊行物■その他●◆▼●◆

▼DJIレポート No.128 20220531 2022年5月31日 up, 4p. PDF 国際資料研究所 www.djichiiyoko.com

■チャールズ・ケシュケメティ博士を偲ぶ『記録と史料』32号 2022.3、p.98-99、全国歴史史料保存利用

機関連絡協議会

■バス旅行「世界遺産葦山反射炉の見学」「いちご狩り」報告『辻堂東海岸 3丁目コミュニティだより』No.66 2022.5.10号 p.4 辻堂東海岸3丁目町内会発行

DJI 国際資料研究所の主な活動

2022年2月26日~2022年5月25日

<執筆>

DJIレポート No.128 20220531 A4判4頁PDF(本誌)

<出講>

5月5日 東京雑学大学第1299回講演会「忘れるな!モリカケサクラと公文書管理法」田無市公民館、東京

5月28日 中央大学アーカイブ論、八王子市、東京

<参加>

3月7日 帝京大学博物館見学 大学史資料協議会 zoom

3月12日 防災訓練 無事ですタオルの掲示 藤沢市辻堂地区防災協議会

3月17日 松本市文書館運営協議会、松本(対面)

3月20日 寒川文書館運営評議会、書面

3月27日 医療ヘルスケアアーカイブズの保存と利用に関わる諸課題と当事者参加 【主催】立命館大学生存学研究所 【共催】JSPS 科研費「アーカイブ構築に基づく

優生保護法史研究」(基盤研究A・代表:松原洋子)、「医療アーカイブズの構築と利用環境の整備に関する先

導的研究-九州大学診療録を材料に」(挑戦的研究/開拓・代表:折田悦郎) Zoom 13:00-17:20

3月26日、4月23日、5月21日 東海岸3丁目町内会役員会、総会 市民の家 藤沢市、神奈川県 対面

4月26日 静岡県 江間いちご狩りと世界遺産韮山反射炉、鎌倉殿大河ドラマ館他、東海岸3丁目町内会バス旅行<見学>

3月1日 東京都公文書館見学、東京学芸大学博物館資料保存論受講者他、東京都国分寺市

4月9日 帝京大学総合博物館、八王子市<その他>

2月28日、3月7,14,28日、4月4,11,18,25日、5月2,9,16,23日 ルーマニア語のお稽古オンライン

3月16日 松本でヒロコさんとイタリアン

3月17日 穴山に元子さんを訪ねる

3月21-22日 箱根対岳荘で静養

3月25日 曙さんと珈琲館ランチ

3月24,25,29,31日 つじ口コマッサージ、辻堂東海岸

4月17日 友子さんとお茶 大和宿舎口ビー、神奈川県

4月25日 モンちゃんとZoom,海外アライブ!オンラインの会

5月10日 洋子さんご機嫌伺い 名古屋

5月14日 アマデウス合奏団演奏会,藤沢市民会館大ホール

5月15日 単独で珈琲館ランチ

5月17日 aibiさん、chieさん、tomokoさんと電話

5月19日 TYさん来訪

5月22日 tomokoさん来訪

3月~5月 金沢クリニック計6回

■ 卷末随想

■ 八大龍王様の花瓶

昨年暮ごろから、寒さを言い訳に早朝散歩は休み続けてしまった。2月も3月もまだ寒い。4月になってある日、ついに決心して久しぶりの朝散歩に出かけた。歩き始めはあちこち油切れみたいで、息が切れる。節々の動きもよろしくない。それでもゆっくり歩いていくと、浜見交差点脇の八大龍王につくころには、結構調子が出てきた。久しぶりなので、ちゃんと二礼二拍手一礼して、改めて石碑を眺めたら、石碑の前の、高さ30センチほどある立派な花瓶に金色の菊の紋章を見つけた。どんな経緯でこの花瓶がこの八大龍王様の石碑の前に置かれ花が活けられているのだろうか。



ずっと前にこの祠をいつも掃除しているという92歳の女性に出会ったのを思い出した。あの方かしらん。その後一度だけ、歩く姿を遠くから目撃したけど、今はどうしておられるだろうか。明日こそ頑張っ、散歩に出かけようかな。

ずっと前にこの祠をいつも掃除しているという92歳の女性に出会ったのを思い出した。あの方かしらん。その後一度だけ、歩く姿を遠くから目撃したけど、今はどうしておられるだろうか。明日こそ頑張っ、散歩に出かけようかな。

■ ルーマニア語のお稽古近況



2020年春から始めたルーマニア語のお稽古、3年目を迎えた。コロナだからではなく、ラウラ先生の家と我が家は電車で2時間半離

れているから、必然的にオンラインお稽古を選ぶことになった。

以来2年余りが過ぎた。ラウラ先生の教え方はと

ても丁寧。外人でも、ものの言い方が失礼にならないようにするためのコツをいつもキチンと教えてください。そして、毎年4月ごろに修了証書を出していただきます。今年も2年目の終了証をいただきました(写真)。とても励みになります。

Multumesc foarte mult, Profesoara Laura.

■ ユウヤ君、小松さん、マサオ君を送る

50年前からの学生オケ同学年仲間、ユウヤ君の訃報が届いたのは4月中旬。奥様からタックン宛のメール、それが同学年仲間へと転送されてきた。本人の意向で49日が終わるまでは報せないことになっていたとか。そういえば、数年前に病没したキムラ君も、同じように49日過ぎての訃報を受け取り、びっくりしてケンちゃんに電話したな。その時、ケンちゃんは泣いていた。

最近ではコロナの為ユウヤ君のように身内で葬儀を済ませ、しばらく時間をおいてから訃報公表というやり方が増えている。故人やご家族の意向など、さまざまな事情があるのだろう。でも、このやり方は、残された者たちにはいかにも寂しい。

もう一人、中学高校同窓のマサオ君の訃報は、5月号高校同窓会報で発見。思わず声をあげてしまった。中学校同期の友人にこれを告げると「全く知らない」と驚いた様子。故郷を離れ首都圏で活躍したマサオ君とは、数年前名古屋での同期会で再会した。次回邂逅を楽しみにしていたのに、なんとも残念。別れを同窓会報の訃報欄で知るなんて…ひどく悲しかった。

故小松芳郎さんの場合(本誌2頁に追悼記事)は即日翌日、諸方面から訃報が入り、筆者は葬儀に参列叶った。葬儀でのお経はわかりやすく感激した。親族葬とはいえ一般来場者も弔問受付で遺影を前にお焼香する仕組み。コロナのこの時期、残った我々も納得できる、温かい葬儀であった。

かくて2月3月、3人の友人を見送った。古希後3年、過ごす日々の重みを改めて思う。合掌(ち)

Documenting Japan International Report 国際資料研究所報 電 ← DJI 電子バージョンのマーク ISSN 1342-632X

DJIレポート DJIホームページ: <http://www.djichiyoko.com>

No.128 20220531

発行所: 国際資料研究所 Documenting Japan International Email: djiarchive@yahoo.co.jp 代表 小川 千代子

〒251-0045 神奈川県藤沢市辻堂東海岸3-8-24 phone 0466-31-5061 fax 0466-33-8535